

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 19 日 (2006.1.19)

【公表番号】特表 2005-530860 (P2005-530860A)

【公表日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【年通号数】公開・登録公報 2005-040

【出願番号】特願 2003-560104 (P2003-560104)

【国際特許分類】

C 0 8 G 85/00 (2006.01)

H 0 1 B 1/06 (2006.01)

H 0 1 B 13/00 (2006.01)

H 0 1 M 8/02 (2006.01)

H 0 1 M 8/10 (2006.01)

H 0 1 M 10/40 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 85/00

H 0 1 B 1/06 A

H 0 1 B 13/00 Z

H 0 1 M 8/02 P

H 0 1 M 8/10

H 0 1 M 10/40 B

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 22 日 (2005.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一般式 (1) の繰り返し単位を有する非架橋高分子、共有結合性および / またはイオン結合性架橋高分子、

【化 1】



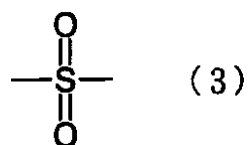
式中 K は結合、酸素、硫黄、

【化 2】



または

【化 3】

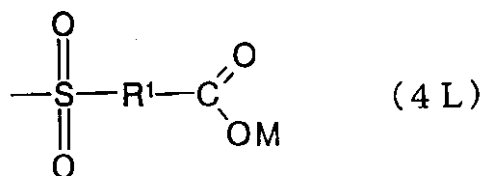
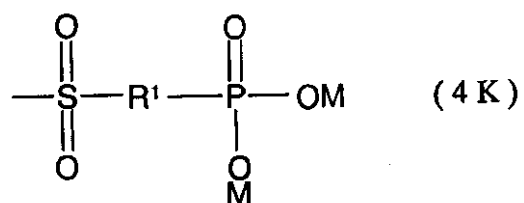
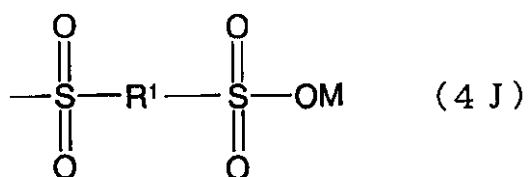
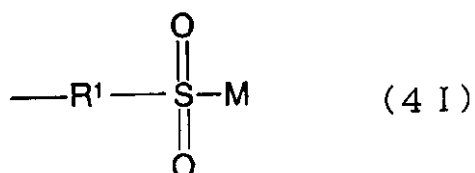


であり、

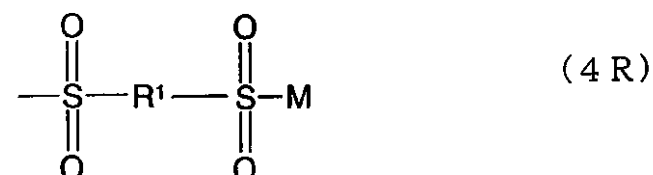
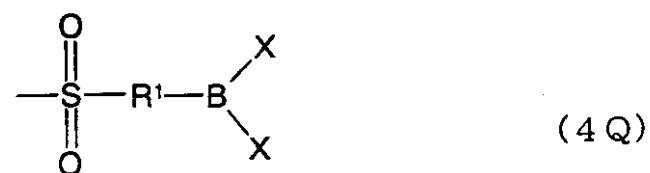
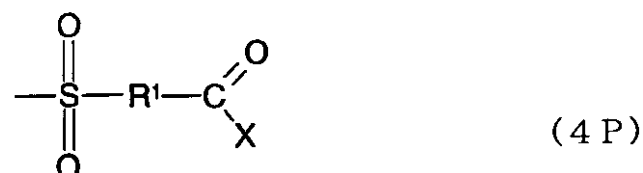
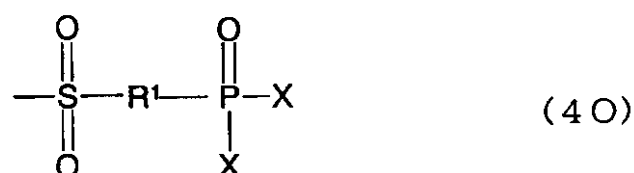
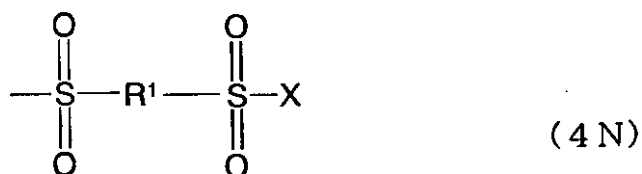
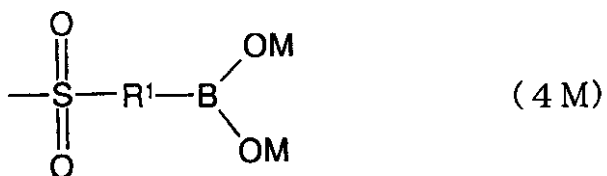
R 基は芳香族または複素環式芳香族化合物の二価の基であり、

a) R 基は一般式 (2 I)、(2 K)、(4 L)、(4 M)、(4 N)、(4 O)、(4 P)、(4 Q) または (4 R) の置換基を少なくとも一部に有し、

【化 4 - 1】



【化 4 - 2】



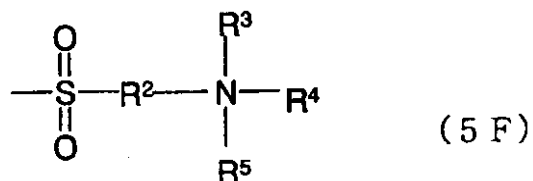
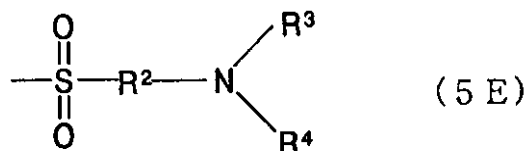
式中、 R^1 基は互いに独立して結合または 1 ~ 40 の炭素原子を含む基で、好ましくは分岐状もしくは直鎖状のアルキル基またはシクロアルキル基、またはアルキル化されていてもよいアリール基であり、

M は水素、金属カチオン、好ましくは Li^+ 、 Na^+ 、 K^+ 、 Rb^+ 、 Cs^+ 、 TiO^{2+} 、 ZrO^{2+} 、またはアルキル化されていてもよいアンモニウムイオンであり、

X はハロゲンまたはアルキル化されていてもよいアミノ基であり、

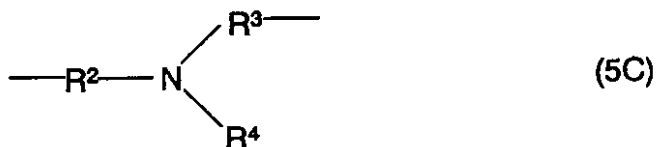
b) R 基は一般式 (5 E) および / または (5 F) の置換基を少なくとも一部に有し、

【化 5】



式中、 R^2 、 R^3 、 R^4 、および R^5 は互いに独立して水素、1～40の炭素原子を含む基であり、好ましくは分岐状もしくは直鎖状のアルキル基またはシクロアルキル基、またはアルキル化されていてもよいアリール基であり、 R^2 、 R^3 、および R^4 基の少なくとも二つは閉環して任意の芳香環を形成していてもよく、
 および/またはR基は少なくとも一部が一般式(5C)および/または(5D)の基であり、

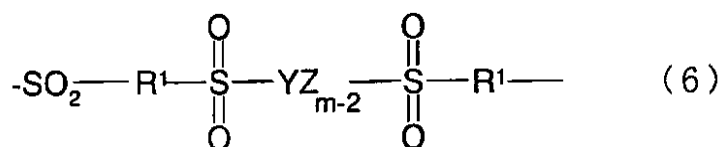
【化 6】



および、

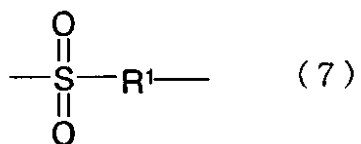
c) R基は少なくとも一般式(6)の架橋を一部に有し、

【化 7】



該架橋は、少なくとも二つのR基を互いに接合させ、Yは1～40の炭素原子を有する基で、好ましくは分岐状もしくは直鎖状のアルキル基またはシクロアルキル基、またはアルキル化されていてもよいアリール基であり、
 Zはヒドロキシル基、一般式(7)の基、

【化 8】



または任意成分 H、C、O、N、S、P、もしくはハロゲン原子からなる、20 g/mol より大きい分子量を有する基で、また m は 2 またはそれより大きい整数であることを特徴とする。